

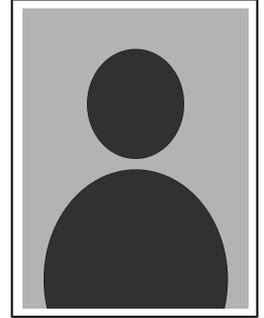


# 専 門 家 履 歴 書

JICA提出用

※以下太線枠内はJICA使用欄につき記載しないでください。

派遣番号		関係省庁	
派遣国		専門家の号	一般・医 号一
プロジェクト名			
指導科目(和)			
指導科目(英)			
派遣期間	年 月 日 ~ 年 月 日	赴任時環境	
任期	年 月 日 ~ 年 月 日	補填形態	
担当部署	( 担当 : )		



下記のとおり相違ありません。

2021年10月25日

フリガナ	コクサイ タロウ		ローマ字表示は「姓名」の順でご記入ください。	ローマ字
氏名(戸籍名) (注1)	国際 太郎			KOKUSAI TAROU
フリガナ				ローマ字
氏名(通称名) (注2)				
生年月日	1980年01月01日		(年齢 満 41歳)	
応募時の現住所	〒 102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル		この履歴書の年月日の記入は全て西暦を用いて下さい。	
	電話: 03-0000-0000	携帯電話: 090-0000-0000	本籍地	東京都
最寄駅	有楽町線	麴町駅	E-mail	02user@icenet.tokyo
留守宅 (緊急連絡先)	住所	〒 000-0000 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル		
	連絡者名	国際 花子	電話:	03-0000-0000
一般旅券	有(有効期間満了日: 2022年08月10日)			
現在または過去1年以内の海外居住状況 (注3)	国名:	居住期間: 2年 0ヶ月 2018年06月01日 から 2020年06月01日 まで居住していた(帰国済)		
現在の勤務先	名称	国際協力大学		
	所在地	〒 000-1111 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル	最寄駅	JR線 新宿駅
	所属部課・役職	農学部・一般職員	電話:	03-1111-1111
	代表者役職・氏名	学部長・人確 次郎		
	担当者名・部課	農学部	代表者: 当機構から所属先宛の文書の宛名人 担当者: 当機構から所属先宛の文書の郵送宛先	電話: 03-3333-5555
派遣中の給与	<input checked="" type="checkbox"/> 有(30%) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 所属先なし			

派遣中の身分	国家公務員	( ) 等級 号奉	定期昇給日	月 日
	地方公務員			

フリガナ	続柄	生年月日	年齢	職業	現在または過去1年以内の海外居住国名(注3)	扶養の義務	随伴
氏名							
コクサイ ハナコ	妻	1975年05月01日	46	主婦	インドネシア	有	随伴
国際 花子							
コクサイ イチコ	長女	2013年05月01日	8		インドネシア	有	随伴
国際 一子							

**公務員の方のみご記入ください。**

なお、特定独立行政法人の役職員の方で、「職員の任免」(昭和二十七年人事院規則八一 二) 第二十条に基づき給与法を適用される国家公務員の官職に併任されている場合は、同第七十五条に定める人事異動通知書を添付してください。

第二十条: 併任とは、採用、昇任、転任、配置換又は降任の方法により現に官職に任用されている職員を、その官職を保有させたまま他の官職に任用することを言う。

第七十五条: 任命権者は、次の各号の一に該当する場合には、職員に人事異動通知書を交付しなければならない。(中略)五併任を行い、又はこれを解除した場合

続柄をご記入ください。  
例) 長男長女

\*本履歴書の年月日は全て西暦で記入してください。  
注1. 戸籍上、記載されている字体で記入してください。  
注2. 仕事等で使用されている通称名(旧姓・新字体を含む)。  
注3. 「居住」には、2ヶ月以下の旅行・出張を含みません。

語学力 (注4、5)	英語	B	資格 TOEIC 640	取得時期 2010/06/18
	インドネシア語	B	資格 公的資格なし	取得時期
	公的資格（英検、TOEIC、TOEFL等）をお持ちの場合は、必ずご記入下さい。 お持ちでない方は、英語を用いての業務経験、海外経験等があれば、「専門分野」 または「職歴」に記入下さい。			
専門分野 (業務・研究歴等 を含めて具体的に 記入してください。 空欄不可)  (180日未満の派遣 専門家は記入 不要)	【農業一般】 国際農業試験場に在勤中は、水田作、畑作及び果樹における農業機械、特に大型トラクター、防除機の利用及び農業機械化に関する試験・研究に従事し、研究論文20篇を発表した。尚、この間、県立農業講習所の講師として農業機械の講義を行うとともに、現地農家及び農業改良普及員に対する指導と研修を行うなど、農業技術の普及業務に従事した。国際大学においては、さらに農業機械学の研究を深め、研究論文20篇を発表した。また、2000年度から毎年、JICA集団研修の研修員を受け入れ、農業機械に関する講義、実習指導を行っている。			
	派遣予定案件での指導内容との関連性が分かるよう具体的に記入して下さい。			
学歴	2001年3月	JICA高校 高等学校 卒業・修了		
	2005年3月	国際協力大学農学部 農業工学科 短期大学・高専 卒業・修了		
	卒業、終了、中退、在学中等も記載してください。			
JICA研修受講歴 (注6) (180日未満の派遣 専門家は記入 不要)	2016年5月	専門家赴任前研修		

注4.  
 S：当該言語による、極めて高いコミュニケーションが可能（英語では、英検1級、TOEIC860点、TOEFL600点（CBT250点、iBT100点）以上に相当）  
 A：当該言語による、高いコミュニケーションが可能（英語では、英検準1級、TOEIC730点、TOEFL550点（CBT213点、iBT79点）以上に相当）  
 B：業務上、十分なコミュニケーションが可能（英語では、TOEIC640点、TOEFL500点（CBT173点、iBT61点）以上に相当）  
 C：業務上、必要最低限のコミュニケーションが可能（英語では、英検2級、TOEIC500点、TOEFL470点（CBT150点、iBT52点）以上に相当）  
 注5. JICA語学検定、英検、仏検、TOEIC等の公的な語学資格をお持ちの方は資格欄に漏れなく記入願います。  
 注6. 専門家派遣前研修、専門家養成研修、PCM研修、調整員研修等



学位・資格 所属学会 免許等	2015年5月	技術士（機械）
	2016年3月	国際協力大学農業博士号取得
主な業績 (主な作品・論文・ 著作・講演等を それぞれ分けて 記入して下さい)  (180日未満の派遣 専門家は省略可)	2015年1月	朝の高周波乾燥に関する研修、国際協力大学紀要
	2016年6月	傾斜地におけるトラクタの安定性、国際協力大学紀要
	2017年3月	国際県における農作業事故の実態と分析、国際協力大学紀要

<過去に健康上派遣不可となった場合の参考例>を必ずご確認の上、ご応募ください。

<https://partner.jica.go.jp/servlet/servlet.FileDownload?file=01521000000EPYr>

\*本履歴書は、当機構が実施する技術協力専門家等派遣事業における審査・派遣手続き（派遣前中後）・公募に係る統計処理以外での目的では、使用いたしません。

\*本履歴書に虚偽の申告又は重要事項の記載洩れが後で判明した場合には、合格が取消又は派遣の中止になることがあります。